

# これからのニッポンの都市 景気対策は「街」の活性にあり!

バル化と日本の持つて  
いる魅力をどういう風  
にミックスさせるかが  
鍵。日本に住む欧米人  
が安心して欧米人の医師  
にかかれるといった医療  
の国際化など、大都市か  
らはじめていくことにな  
るでしょうが。

**幸田** 地方に講演にい  
ますと、よく地方の活  
性にいいアイデアありま  
せんと聞かれます。同じ  
悩み、同じ環境の地方同  
士の情報交換が意外に行  
われていません。ネットで  
世界とコミュニケーション  
できる時代ですから、世  
界と繋がる視点をもつと  
あつたらと思います。

**伊藤** 九州に連携の動き  
があつて、近隣の台湾、  
中国、韓国から人を呼  
ぼうというものです。長  
野の小布施町ではアメ  
リカ人の女性セラ・カ  
ミングスさんが老舗の酒  
蔵やレストランを任せ  
て経営しています。地域  
活性化にも寄与され、特  
産品の栗や美しいまちな  
みを発信して注目を集  
めています。

**幸田** 潜在的には魅力が  
あるのに気が

ています。例えば、夏に  
若者が集まる音楽イベ  
ントを開催することで、  
それを通じた大きなネ  
ットワークができてい  
ます。社会活動へのアク  
シオンは大事ですね、日  
本の都市で気がかりなの  
は、まだに20世紀型の  
都市構造です。パンク  
バーでの経験ですが、海  
辺の街が地元の人達で  
大変賑わいます。同じ  
海辺の街であるみなと  
みらいは、周辺の住宅  
が圧倒的に多い。水  
辺を活用していい。市  
民の生活がにじみ出る  
街が観光客を引きつけ  
るわけで、みなとみら  
いの街も若い人が多く  
住んで、新しい文化が  
出てきて欲しいですね。

**幸田** 仕分けではなく、  
混在するところに面白  
さも活気も生まれます。  
住む人がいてこそ都市  
ですから、生活の機能が  
しっかりと組み込まれ  
ていくことが魅力なの  
でしょうね。

バンクーバー 大平洋に面し、カナダのなかでもその美しさで評価  
が高く、港街らしい水辺には様々な憩いの空間が設えられている。



谷根千 明治から大正、昭和までの東京の面影を色濃く残す街。  
谷中(やなか)は典型的な寺町で外国人も多く訪ねてくる。



**伊藤 元重**  
いとう もとしげ  
東京大学大学院経済学研究科 教授

1951年生まれ。東京大学経済学部卒業。  
ロチェスター大学Ph.D。専門は国際経済学。  
小渕内閣「経済戦略会議」、森内閣「IT戦  
略会議」で委員を務める。いわゆる「ア  
ームチェア・エコノミスト」ではなく、ビ  
ジネスの現場を歩き、生きた経済を理  
論的観点から踏まえて鋭く解き明かす  
、いわば「ウォーキング・エコノミ  
スト」として知られる。テレビ東京「  
ワールドビジネスサテライト」コメン  
テーターなどメディアでも活躍中。



## グローバル化と日本の持っている魅力 これをどうミックスさせるかが鍵

伊藤

集積のメリットがあり、こ  
う開発しようというコン  
セプトを設け、そのため  
に官と民が努力する、石  
原都政の東京は成功して  
います。東京駅の丸の内  
舎復元でも丸の内再開  
発を進めるため空中権を  
移転しました。都の強い  
リーダーシップによって  
短時間でできた。民間  
なら10年や15年はか  
かるでしょう。

**幸田** 今回のような経済  
危機が起きると民間だけ  
では案件が頓挫します  
からね。メディアも、国  
と国民との意義あるコ  
ミュニケーションを助  
ける姿勢が必要でしょう  
。こういうプランがあり  
、こういう手法で、こ  
うなるのだと、それぞ  
れの情報開示を積極的に  
進めることが必要と思  
いますね。

**伊藤** そうです。もう  
新聞やテレビだけがメ  
ディアではないし、イン  
ターネットや雑誌もあ  
る、テレビも地上波だ  
と視聴率重視となります  
。BSとかCSなら違  
う発信ができます。国  
や企業が積極的に活用  
すべきでしょう。

**幸田** そのコミュニ  
ケーションに若者とか  
子供達とかに入つてき  
てもうようなことも必  
要ですね。

**伊藤** 現場ではそうい  
うことをや

不可欠な官と民の協調

づいてない。その芽を  
育てていくと新しい需  
要が創出できるのに。  
**伊藤** 社会と産業の  
構造が変わり、今後は  
、医療、住宅、環境、  
食糧、そして観光など  
のウェイトが高くなり  
、地方が主体になるの  
です。そんな力のある  
地方と高機能化した大  
都市が、世界に対して  
受発信する時代にな  
らないといけません。

**幸田** シカゴに住んで  
いる友人が、東京は面白  
い。銀座は活気、浅草は  
昔ながら、青山は若  
さ、と東京の中心カラ  
ーの違う街が共存して  
いるといます。私はバ  
リのように整然とした  
街がいいと思つていま  
したが、長く住んでい  
る友達は、東京に帰っ  
てくると元気になる  
ようで、雑然とした  
街にエネルギーを感じ  
るとか。

**伊藤** 機能だけ考え  
たら、道路を広く、ビ  
ルを高層に、緑を増  
やし、交通を便利にす  
ればいいんでしょう  
が、味わいがない。ジ  
ェイコブズという有  
名な都市経済学の先  
生は、道路は曲がった  
方がいい、突然視界  
が開けて面白いとい  
います。整然と雑然  
の混在する東京はそ  
こに魅力があるのかも  
知れません。

**幸田** 今後、都市再  
生は大きな流れです  
が、目前の景気回復  
にもどうつなげてい  
くかです。

**伊藤** 都市再生とい  
う21世紀のインフラ  
づくりが非常に重要  
な牽引力になるのは  
間違いない。先の話  
のように少子高齢  
化、地球温暖化、産  
業構造変化を反映  
して都市をつくりか  
えていく。田中角栄  
の日本列島改造論と  
逆のことをやらない  
といけません。官の  
資金だけでは限  
界があります。数  
ある資金の中で意  
外に光が当たらない  
のは個人資産、金  
融資産と同じ規模  
の不動産があり、  
企業とちがって個  
人の場合はただ住  
むしかない。老夫  
婦ふたりで年金  
25万円くらい  
の生活でも、家  
は古い。土地は  
800万円とか  
1億円の価値  
がある。それを  
担保に生活を豊  
かにし、死亡後  
に不動産を返  
すというリバ  
ースモーゲー  
ジなど、もつ  
と一般的にな  
らないといけ  
ない。巨額の

個人資産とインフラ整備  
の公的資金をうまく連  
携させると大変な経済  
効果が生まれると思  
うのです。当面の手段  
はインフラ整備、長い  
目で見ると税や金融  
制度の見直しや個人  
資産の活用です。

**幸田** どうしても  
まだ社会や仕組みが  
固定的です。もう少し  
流動化させるのが今  
後のキーワードです。  
経済というのは人間  
がいてこそそのも  
のですから、高齢  
化して人間が閉塞感  
を感じるのではなく  
、生き生きと人生を  
楽しめる都市の機能  
とは何か、それを高  
める社会資本が個人  
の投資の対象にも  
なる、そんな経済の  
メカニズムが  
できればいいと思  
いますね。

**伊藤** 日本人にと  
ってこれだけ心地  
良い都市はない、食  
文化も多彩です。音  
楽のチケットはか  
なり高いけど、そ  
れでも聴けるわけ  
です。東京は意外  
に緑が多く、浅草  
や谷根千も元  
気です。

**幸田** 経済もまだ  
難しい局面が続  
きそうですが、こ  
れが日本の都市  
が再生できるチ  
ャンスともなり  
、また私たちが  
人生を楽しむこ  
とができる都市  
の実現への端緒  
になるかもしれ  
ません。今日は  
ありがとうございました。

\*4 ジェイン・ジェイコブズ  
1916年アメリカ・ペンシルバニア州生まれ。作家・ジャー  
ナリストであり近郊都市開発の反対運動家。著作に「  
アメリカ大都市の死と生」「都市の経済学」がある。